

2023 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	アジア子ども基金
活動テーマ	PTGは魔法のことは、災害のプラスもマイナスもひっくるめて心の成長をしよう！！



グリーンケアでは、近年 PTSD から PTG という新しい考えが導入されつつあります。これは、トラウマになるようなことがあっても、必ずしも乗り越えるのではなく、引きずって生きればよいという考えです。ただ、自分で意識しないと、中々できることではありません。そこで、紙芝居制作過程での神戸・宮城の被災者の人たちとの MTG の中で、繰り返し繰り返し、刷り込んでいきました。なぜなら、大人が変わると子どもが変われるからです。神戸の被災者の方から、「震災を体験した私ですら段々と忘れていきます。それでも私は伝え続けたいことがあります。それは「震度7」ではなくて「命」です。失った命、生かされた命、生きていくことの困難さ、大変さ、だけでなく、生きる楽しさ、喜びをこそ伝えていきたいと思います。」という話がありました。これこそ PTG だと感じました。災害をも福と転ずる考え方です。

防災紙芝居は、電動車いすの和山さんから聞いた話をベースにしました。地震で家の下敷きになっていた時に、助けてくれたのは近所の人たちだった。それは日頃から、彼は挨拶を欠かさず、自分の存在を伝えていたから、周りの人たちが、心配して見に来てくれて、助けてくれたそうです。

防災において一番大切なのは、日頃から、挨拶をして、近くの社会の人たちと、仲良しになることではないでしょうか？そういう社会なら、いじめもない社会ができると思います。物を追求しないからです。物を追い求めると、争いになり、奪い合いが発生します。大人にも、子ども達にできる防災、それは、日頃の、元気な、声かけ、あいさつだと思います。